



- [ホーム](#)
- [ご挨拶](#)
- [開催概要](#)
- [プログラム・日程表](#)
- [演題募集・採択一覧](#)
- [事前参加登録・宿泊案内](#)
- [参加者・座長・演者の方へのご案内](#)
- [認定医研修会](#)
- [託児室のご案内](#)
- [会場アクセス](#)
- [リンク](#)

 **ポスターをダウンロード**



 **Poster Download**



プログラム

特別講演

「障害の権利擁護と医療(仮)」

平成29年10月28日(土) 11:00~12:00 A会場 3F「メインホール」

座長 柿木 保明
九州歯科大学老年障害者歯科学分野 教授

演者 佐藤 彰一
国学院大学法科大学院 教授、弁護士、全国権利擁護支援ネットワーク代表

教育講演

「障害者の歯科疾患に対する予防と診療～障害者福祉の立場から～」

平成29年10月29日(日) 11:00~12:00 A会場 3F「メインホール」

座長 小笠原 正
松本歯科大学障がい者歯科学講座 教授

演者 緒方 克也
重症心身障害児者施設久山医療療育センター歯科、九州歯科大学 臨床教授

会長講演

「闘病経験からみた口腔ケアと摂食機能のリハビリテーション」

平成29年10月28日(土) 10:00~11:00 A会場 3F「メインホール」

座長 福田 理
愛知学院大学歯学部小児歯科学講座 教授

演者 柿木 保明
九州歯科大学 老年障害者歯科学分野 教授

シンポジウム1

「障害者歯科におけるこれからの歯科衛生士の役割」

平成29年10月28日(土) 16:00~18:00 A会場 3F「メインホール」

座長 石井 里加子
九州看護福祉大学看護福祉学部口腔保健学科

有友 たかね
日本歯科大学生命歯学部、日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック

演者 森下 志穂
名古屋医健スポーツ専門学校歯科衛生科

医療福祉連携委員会

「障害者の権利擁護から導かれる「合理的配慮」」

平成29年10月28日（土） 14:40～16:10 C会場 4F「411・412」

座長 望月 亮
本学会医療福祉連携委員、静岡市開業

演者 三浦 誠
横浜市口腔保健センター

大槻 征久
本学会医療福祉連携委員、東京都府中市開業

倫理委員会・利益相反委員会

「臨床研究における倫理面の配慮および利益相反の開示について」

平成29年10月28日（土） 16:30～18:00 C会場 4F「411・412」

演者 玄 景華
倫理委員会・利益相反委員会委員長

歯科衛生士ミート・ザ・メンター

平成29年10月29日（日） 14:00～16:00 D会場 4F「413・414」

演者 溝口 理知子
歯科衛生士連携委員会委員長

共催：アジア障害者歯科学会キックオフ大会

平成29年10月28日（土） 15:00～18:00 B会場 5F「501」

座長 弘中 祥司
昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門 教授

野本 たかと
日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座 教授

主催事務局

九州歯科大学 老年障害者歯科学分野

〒803-8580
北九州市小倉北区真鶴2-6-1
TEL：093-285-3074
E-mail：34jsdh@gmail.com

運営事務局

株式会社インターグループ 九州支社

〒810-0001
福岡市中央区天神2-8-38-7F
TEL：092-712-9530
FAX：092-712-9533
E-mail：jsdh34@intergroup.co.jp

サイトマップ

ホーム	参加登録・宿泊案内
ご挨拶	参加者へのご案内
開催概要	認定医研修会
プログラム・日程表	託児室のご案内
演題募集・採択一覧	会場アクセス
	リンク

シンポジウム 障害者の権利擁護から導かれる「合理的配慮」

日本障害者歯科学会医療福祉連携委員会

日 時：平成 29 年 10 月 28 日(土) 14:40～16:10

会 場：福岡国際会議場 4 階 C 会場 411-412 会議室

障害者歯科とは「障害者の権利を守る歯科医療」とも言い換えられるでしょう。かれらはどのような状況にあっても口腔が健康である権利を有します。ただその権利を理解したり行使したりすることが出来ない場合、だれが、どのようにかれらの代理人として権利を施行するのでしょうか。このことは医療の効果と深くかかわってきます。したがって権利を守るという考えを抜きに処置のみを行うことは障害者歯科ではありえないはずなのです。しかし現実には「疾患への対応」のみに終始している面があまりにも多いのではないのでしょうか。

本シンポジウムではそもそも障害者の権利とは何かを論じ、続いて権利を守ることの意義について、さらにそれは歯科医療でどのように活かされるのかを論じます。そしてその延長にある障害者の虐待防止と差別解消、そして最後に差別解消法に求められる合理的配慮とは何かを多面的に討論したいと思います。

このシンポジウムの討論では、権利擁護と合理的配慮について現実にあった多くの市民や会員の共感を得られるような対応を考えていきたいと思います。発言者はお二人です。大槻先生は社会福祉士の資格も持つ開業歯科医で、現在大学社会福祉学部修士課程で医療連携、権利擁護等を学ぶ本学会医療福祉連携委員です。

昨年、大宮での本委員会シンポジウムにおける先生のご発表をご記憶の方も多いと思います。三浦先生は医療と福祉の連携協働に深い関心と理解をお持ちの障害者歯科医、歯科麻酔科医です。これらお二人によるコンパクトなプレゼンと障がいをお持ちの患者さんのご家族からの貴重な指定発言を交えて、昨年同様フロアと一体になった丁々発止の議論を目論んでいます。刺激的で型破りな、それでいて実の詰まった時間を求めるあなた、大会一日目の午後のひととき、どうぞお立ち寄りください。

パネリスト	大槻 征久先生	本学会医療福祉連携委員、東京都府中市開業
	三浦 誠先生	横浜市歯科保健医療センター
コーディネーター	望月 亮先生	本学会医療福祉連携委員、静岡市開業